

精神保健福祉士国家試験受験資格

(福祉総合学部福祉総合学科)



精神保健福祉士国家試験受験資格

(福祉総合学部 福祉総合学科)

I. 精神保健福祉士とは

精神保健福祉士は、1997（平成9）年に誕生した精神保健領域のソーシャルワーカーの国家資格である。「精神保健福祉士の資格を定めて、その業務の適正を図り、もって精神保健の向上及び精神障害者の福祉の増進に寄与することを目的とする（第1条）」として精神保健福祉士の目的を定めた「精神保健福祉士法」（公布：平成9年12月19日法律第131号）には、次のように定義されている。

「精神保健福祉士とは、第28条の登録（氏名や生年月日などを国に登録する）を受け、精神保健福祉士の名称を用いて、精神障害者の保健及び福祉に関する専門的知識及び技術をもって精神科病院その他の医療施設において精神障害の医療を受け、又は精神障害者の社会復帰の促進を図ることを目的とする施設を利用している者の地域相談支援の利用に関する相談その他の社会復帰に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うことを業とする者をいう」（第2条）。

このように精神保健福祉士は、精神に障害をもつ方々の保健および福祉についての専門的知識や技術を用いて、社会に復帰するための相談援助を行う専門職であり、具体的には、①退院後の住居や就労や各種の給付制度などの相談に応じる。②支援制度をどう利用すべきかなど退院後の生活についての助言や指導を行う。③生活や金銭の自己管理および掃除、洗濯、買い物など日常生活への適応のための必要な訓練を行う。④家庭や職場、学校との連絡調整や手続きなどを援助するなどを実践する。

資格取得後の職域は拡大しており、精神科病院やクリニックなどの医療機関、保健所や精神保健福祉センターなどの福祉行政機関のほか、生活訓練、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援など福祉サービス事業を行う施設、地域活動支援センター、ハローワーク、福祉事務所の相談窓口など、また、企業におけるメンタルヘルス活動や学校ソーシャルワークなど、多様な場面・領域での活躍が期待される。

II. 精神保健福祉士をめざすには

精神保健福祉士の資格を取得するには、本学で国家試験の受験資格を得た後に、年1回2月上旬に実施される精神保健福祉士国家試験を受験し合格しなければならない。

また、この受験資格を得るためには、福祉総合学部福祉総合学科社会福祉コースにある実習を含めた「厚生労働省の指定する科目」のすべての単位を取得（表1を参照）し、大学を卒業する

必要（卒業見込みも可）がある。

表1にある厚生労働省の指定科目は、精神保健福祉士法（平成9年法律第131号）第7条第1号及び第2号の規定に基づいて定められた「精神障害者の保健及び福祉に関する科目を定める省令」（平成23年8月5日文部科学省・厚生労働省令第3号）による新しいカリキュラムであり、2021年（令和3）年4月1日より施行される。学部および福祉教育センターで行う「国家試験説明会」に必ず出席して、受験科目などの確認を確実に行う必要がある。

1. 表1にある本学開講科目のうち、「医学概論Ⅰ」「心理学」「社会学」「社会福祉原論」「福祉政策」「地域福祉の理論と方法Ⅰ・Ⅱ」「社会保障論」「障がい児・者福祉サービス」「権利擁護と成年後見制度」「司法福祉」「社会調査」「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」「ソーシャルワークの基盤」の14科目は社会福祉士受験資格と共通の科目である。
2. 指定科目のうち「社会福祉の原理と政策」は、本学では「社会福祉原論」「福祉政策」、「地域福祉と包括的支援体制」は「地域福祉の理論と方法Ⅰ・Ⅱ」、「精神医学と精神医療」は「精神医学Ⅰ・Ⅱ」、「現代の精神保健の課題と支援」は「精神保健学Ⅰ・Ⅱ」、「ソーシャルワーク演習（専門）」は「精神保健福祉援助演習Ⅰ・Ⅱ」、「ソーシャルワーク実習指導」は「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「ソーシャルワーク実習」は「精神保健福祉援助実習Ⅰ・Ⅱ」となっているため、それぞれ単位取得が必要である。
3. 精神保健福祉援助実習を行うにふさわしい学業成績（実習前年次終了時点でGPA3.0以上）を有していること。かつ学科の進級要件・実習要件を満たしていること。
4. 表1にある本学開講科目のうち、「精神保健福祉援助実習Ⅰ・Ⅱ」の手続きや詳細については「実習説明会」において指示があるので必ず出席し、特に、手続きの遅れや提出書類に不備がないようにすることが必要である。なお、実習の登録費については実習年次に別に定める額を納入する必要がある。

精神保健福祉士国家試験の合格基準は総得点の60%を基準としており、過去5年の合格率はおおむね60%である。現役での合格を目指すには、まず授業に出席し、基本となる精神保健福祉の概念や用語を理解することが必要である。さらに、その上に受験対策としてのテクニックを含めた学習を積み上げることが望ましい。そのため1・2年次より計画的、継続的に学習を進め、3・4年次には別に設けられる受験対策講座などを積極的に活用することが合格への近道となる。また、受験勉強の具体的方法については、コースの教員や福祉教育センターが相談に応じるので積極的に活用すること。

具体的な履修科目について、参考として「精神保健福祉士履修標準モデル」を表2に示す。参考までに、表3に社会福祉士同時取得モデルも示す。

Ⅲ. 精神保健福祉士取得に必要な単位の取得

精神保健福祉士指定科目（表 1）

	厚生労働省による法令指定科目	本学開設科目		
	科目名	科目名	単位	履修年次
1	医学概論	医学概論Ⅰ	2	1.2
2	心理学と心理的支援	心理学	2	1.2
3	社会学と社会システム	社会学	2	1.2
4	社会福祉の原理と政策	社会福祉原論	2	1.2
		福祉政策	2	1.2
5	地域福祉と包括的支援体制	地域福祉の理論と方法Ⅰ	2	2.3
		地域福祉の理論と方法Ⅱ	2	2.3
6	社会保障	社会保障論	4	2.3
7	障害者福祉	障がい児・者福祉サービス	2	1.2
8	権利擁護を支える法制度	権利擁護と成年後見制度	2	2.3
9	刑事司法と福祉	司法福祉	2	2.3
10	社会福祉調査の基礎	社会調査	2	2.3
11	精神医学と精神医療	精神医学Ⅰ	2	1.2
		精神医学Ⅱ	2	2.3
12	現代の精神保健の課題と支援	精神保健学Ⅰ	2	2.3
		精神保健学Ⅱ	2	2.3
13	ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2	1.2
14	精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理	4	1.2
15	ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	4	2.3
16	ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法（専門）	4	2
17	精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	2	2.3
18	精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	2	2
19	ソーシャルワーク演習	ソーシャルワークの基礎	1	1
20	ソーシャルワーク演習（専門）	精神保健福祉援助演習Ⅰ	2	3.4
		精神保健福祉援助演習Ⅱ	1	4
21	ソーシャルワーク実習指導	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1	3
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1	3
		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	1	4
22	ソーシャルワーク実習	精神保健福祉援助実習Ⅰ	4	3
		精神保健福祉援助実習Ⅱ	3	4

精神保健福祉士履修標準モデル（表2）

科目群	1年次	2年次	3年次	4年次
学科共通科目群 I（語学）・II（情報）	Fundamentals of English I ②★ 情報メディア演習 I a ①★ 情報メディア演習 I b ①★			
キャリア形成科目群 （この科目群の中より ⑩単位以上選択必修）	基礎ゼミ a ①★ 基礎ゼミ b ①★ 福祉グローバル基礎研修①★ 福祉疑似体験②	福祉グローバル研修②※ 地域プロジェクト a ② 地域福祉研修②※	ゼミナール I a ①★ ゼミナール I b ①★ 地域プロジェクト b ②	ゼミナール II a ①★ ゼミナール II b ①★
専門基礎科目群 （この科目群の中より ⑥単位以上選択必修）	福祉文化論② 地域ボランティア論② サステイナブル社会論② ジェンダーと福祉社会②	まちづくり論② 女性福祉論②	福祉医療ケアシステム論②	
専門科目群 I （福祉関連科目） 精神保健福祉指定科目	*医学概論 I ② *心理学② *社会学② *社会福祉原論② *福祉政策② *ソーシャルワークの 基盤と専門職 I ② *障がい児・者福祉サー ビス② 精神医学 I ② 精神保健福祉の原理④ *ソーシャルワークの 基礎①	*社会調査② *ソーシャルワークの 理論と方法 I ④ *地域福祉の理論と方法 I ② *権利擁護と成年後 見制度② *司法福祉② ソーシャルワークの理 論と方法（専門）④ 精神保健学 I ② 精神保健学 II ② 精神障害リハビリテー ション論② 精神医学 II ②	*社会保障論④ 地域福祉の理論と方法 II ② 精神保健福祉援助演習 I ② 精神保健福祉援助実習指導 I ① 精神保健福祉援助実習指導 II ① 精神保健福祉援助実習 I ④※	精神保健福祉援助演習 II ① 精神保健福祉援助実習指導 III ① 精神保健福祉援助実習 II ③※
専門科目群 I （福祉関連科目） （この科目群の中から 22単位以上選択必修）	高齢者福祉サービス② 介護の知識と技術②	国際福祉論② 社会心理学② 子ども家庭福祉論② 貧困に対する支援論② 社会福祉経営② 臨床心理学②	福祉専門研究 I ② 福祉専門研究 II ② 人格心理学② 医療ソーシャルワーク論② 心理療法論②	福祉応用研究 I ② 福祉応用研究 II ② リスクマネジメント論②
年次単位数	42	46	30	13
累積単位数	42	86	116	131

○のなかの数字は単位数を表す。

★印を付した科目は学部での必修科目である。

*印を付した科目は、社会福祉士指定科目と共通した科目である。

※福祉グローバル研修、地域福祉研修、精神保健福祉援助実習 I・II は、別途費用負担がある。

精神保健福祉士履修モデル（社会福祉士同時取得モデル）（表3）

科目群	1年次	2年次	3年次	4年次
学科共通科目群 I（語学）・II（情報）	Fundamentals of English I ②★ 情報メディア演習 I a ①★ 情報メディア演習 I b ①★			
キャリア形成科目群 （この科目群の中より ⑩単位以上選択必修）	基礎ゼミ a ①★ 基礎ゼミ b ①★ 福祉グローバル基礎研修①★ 福祉疑似体験②	福祉グローバル研修②※ 地域プロジェクト a ②	ゼミナール I a ①★ ゼミナール I b ①★ 地域プロジェクト b ②	ゼミナール II a ①★ ゼミナール II b ①★
専門基礎科目群 （この科目群の中より ⑥単位以上選択必修）	福祉文化論② 地域ボランティア論② ジェンダーと福祉社会②	まちづくり論② 女性福祉論②	福祉医療ケアシステム論②	
専門科目群 I （福祉関連科目） 精神保健福祉指定科目	*医学概論 I ② *心理学② *社会学② *社会福祉原論② *福祉政策② *ソーシャルワークの 基盤と専門職 I ② *障がい児・者福祉 サービス② 精神医学 I ② 精神保健福祉の原理④ *ソーシャルワークの 基礎①	*社会調査② *ソーシャルワークの 理論と方法 I ④ *地域福祉の理論と 方法 I ② *権利擁護と成年後 見制度② *司法福祉② ソーシャルワークの理 論と方法（専門）④ 精神保健学 I ② 精神保健学 II ② 精神障害リハビリテー ション論② 精神医学 II ②	*社会保障論④ *地域福祉の理論と方法 II ② 精神保健福祉援助演習 I ② 精神保健福祉援助実 習指導 I ① 精神保健福祉援助実 習指導 II ① 精神保健福祉援助実 習 I ④※	精神保健福祉援助演 習 II ① 精神保健福祉援助実 習指導 III ① 精神保健福祉援助実 習 II ③※
専門科目群 I （福祉関連科目） 社会福祉士指定科目	高齢者福祉サービス② ソーシャルワークの 基盤と専門職 II ②	子ども家庭福祉論② 貧困に対する支援論② 社会福祉経営② ソーシャルワーク演習 I ②	ソーシャルワークの理 論と方法 II ④ 医療ソーシャルワーク論② ソーシャルワーク実習指導 I ① ソーシャルワーク実習指導 II ①	ソーシャルワーク演習 II ② ソーシャルワーク実習指導 III ① ソーシャルワーク実習 I ⑥※
専門科目群 I （福祉関連科目）	介護の知識と技術②	社会心理学②	福祉専門研究 I ② 福祉専門研究 II ②	福祉応用研究 I ② 福祉応用研究 II ②
年次単位数	42	42	32	20
累積単位数	42	82	112	136

○のなかの数字は単位数を表す。

★印を付した科目は学部の必修科目である。

*印を付した科目は、社会福祉士指定科目と共通した科目である。

※福祉グローバル研修、精神保健福祉援助実習 I・II、ソーシャルワーク実習 I・II は、別途費用負担がある。